

01

10月2022

ハロウィンに寄せて ークリスチャンでいるということは？

by NCM2 CHOIR

全4page



日本でもこのごろ、ハロウィンの行事がなされているそうですね。アメリカでは10月31日が近づくと、あちらこちらの人家の前庭はハロウィンの飾りで賑わいます。

お店もハロウィングッズとキャンディ商品でいっぱいになります。



でもこの写真のデコレーションでわかるように、骸骨やお化け、お墓など、気持ちの悪い怖いデコレーションです。カトリックの諸聖人の日である11月1日に関係しているといわれていますが、アメリカの行事の中で、キリスト教に基づいていない行事はこれだけだそうです。

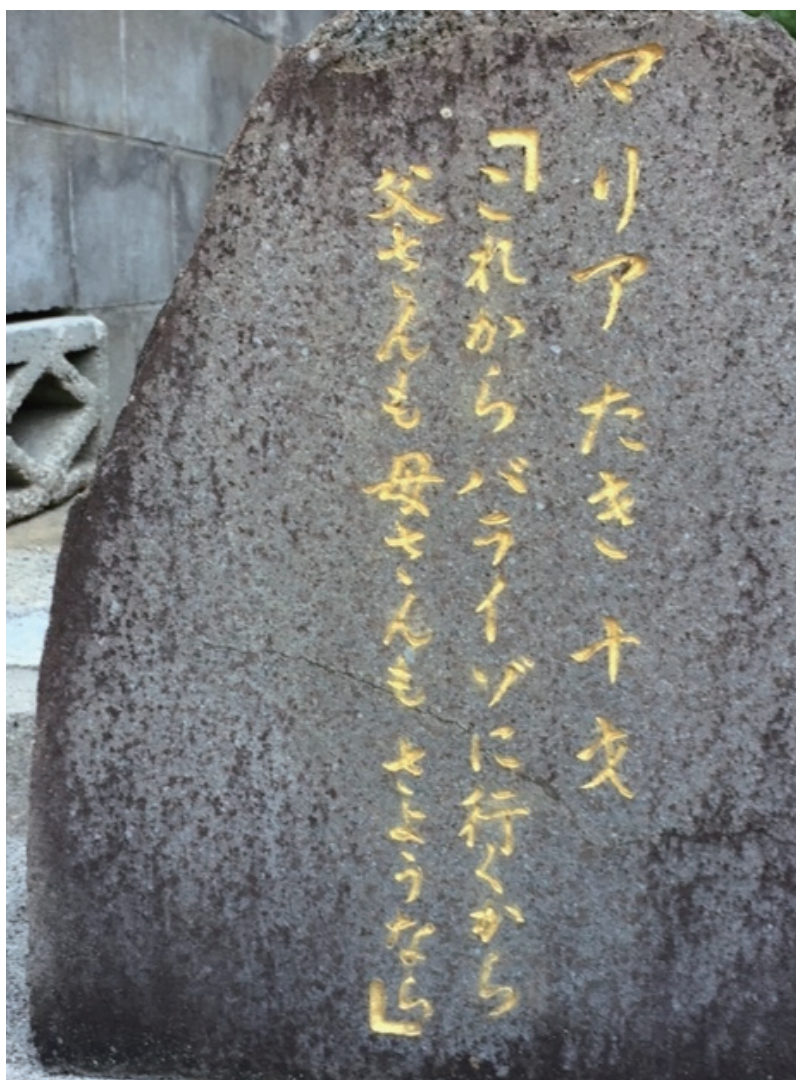
この日の夜には死者の霊が現世の家族に会いに来ると信じられていたようで、悪霊や魔女がやってきて作物を荒らしたり、子どもを連れ去っていったりすることで人々は仮面を被って仮装してキャンディをもらうことによって、夜の街から死者から悪霊を追い払うのだそうです。

仮装するのも、キャンディをもらうのも楽しい一年中で子供達が一番喜ぶ行事となっています。そこで、これに対してクリスマンの親たちはこのいまわしい行事に対してどのように対応しているでしょう。

子供が喜ぶ楽しい行事を奪うわけにはいきません。そこで教会ではハーベストフェスティバルとかハレルヤフェスティバルと銘打ってゲームをさせたり、魔女や怖いものではないもの（たとえば聖書の中の人物）の仮装をしたり、またキャンディを配ったりして、いろいろ工夫をしています。

このことから考えても日本にいるクリスマンは どんなに大変かと思わされます。地域での冠婚葬祭などを避けるのは大変なことでしょう。

私自身、小さい時に神社のお祭りなど大好きでした。幸い、日本にいる時にはクリスマンではありませんでしたから、その問題はありませんでしたが。そして何年か前に五島列島で見たクリスマン迫害のときの史跡を思い出しました。



果たして、私には彼らのような強い信仰があるでしょうか？

「あなたは私を愛しているか？」ペテロにきいたイエス様が私にも話しかけられます。

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

メール oriochurch@outlook.jp

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>